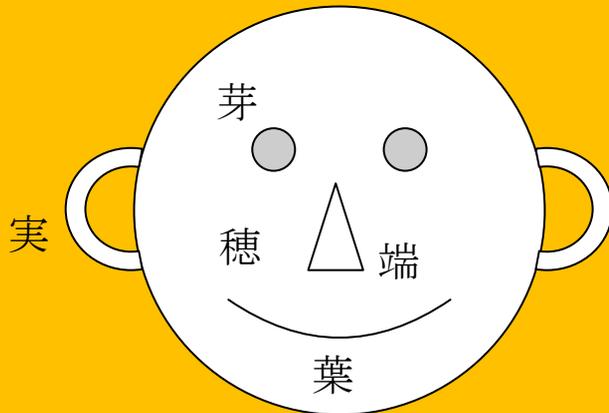


歯の語源



昔の人は、顔のパーツを植物に例えていました。

現在の「歯」は「葉」と例えられていました。どちらも栄養を取り入れるという共通点の他に、歯が抜け落ちる様が、秋の落葉に似ているからと言われています。

歯の他にも

- 目→芽・・・どちらも開いて現れる
 - 耳→実・・・耳から聞いたものが実になるため
 - 鼻→端・・・先端にあるもの
 - 頬→穂・・・どちらも膨らむもの
- と、例えられていました。



おまけ：「親知らず」はなぜ親知らずと言うか知っていますか？

いくつか説はありますが、18歳頃に生えるため、親に教える年齢ではないという説、乳歯が完全に無くなってから生えるので、乳歯が親の歯を知らないとする説などがあります。正式名称は第三大臼歯（だいきゅうし）又は智歯（ちし）と言います。

小学校に入学する頃に生えてくる奥歯が、第一大臼歯、中学校に入学する頃に生えてくる奥歯が第二大臼歯と言われ、その奥に生えてきます。

智歯は、知歯とも表わされ、知恵がつく頃に生えてくる為、知恵歯が変化し、智歯となったそうです。

